

さくら 2007 春

発行
社会福祉法人 東桜会
第 15 号
〒420-0962
静岡市葵区東 527 番地の 1
特別養護老人ホーム 麻機園
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

新しい職員の紹介



社会に出てから長い年月が経ちますが、初めて福祉の仕事に就かせていただきました。まだ不慣れなため皆さまにはご迷惑をおかけすると思いますが、一日でも早く仕事を覚えていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム麻機園 事務員 坂詰千佐子



研修を終え、社会人になるという意識が高まってきました。自分の行動や言動に、責任と自覚を持って働きたいと思います。優しい気持ちを忘れず、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム麻機園 生活相談員 栗田早季子



「笑顔で一緒に過したい」これが私の目標です。初めての仕事なので、積極的に質問をしてきちんと自分のものにしていきたいです。最初は頼りない私ですが、自信を持って「任せて」と言えるように、がんばります。これからよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム麻機園 寮母 秋山紗貴子



常に利用者のことを考えて行動し、受け入れる姿勢、聴く姿勢をとれる職員になれるよう努力します。一日も早く職場に慣れるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

静岡市有永グループホーム 寮母 板倉 愛



私は中学の頃からバレーボールを続けていて、体を動かすレクリエーションが好きです。短大では介護について学びましたが、これからは現場でしっかりと学んで行きたいと思っています。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム麻機園 寮母 栗原亜耶

施設長と寮母長が変わりました。

ケアハウス桜花 施設長 長島鈴江

入社以来15年、麻機園では入所者の皆様、並びにご家族様そして職員の皆様に支えられ、多くの事を学ばせて頂きましたことに深く感謝致します。

この度4月より施設長として桜花の仲間入りをさせていただくことになりました。なにぶんにも微力でございますが、誠心誠意努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム麻機園 寮母長 足立景子

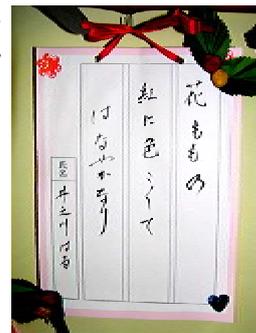
この度、麻機園の寮母長という新しい役割をいただきました。今まで通りこれからも、入所者の皆さんからご指導を賜りながら、また、職員の厚いサポートに助けられながら、精進して参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。



皆さん詩人

麻機園デイサービスセンター 牧野晴美

ある日、一人の利用者から俳句が書かれた紙を渡された。昔趣味で作ったものだそうだ。他の利用者がそれを読み、「とてもいい俳句だ」と、筆で清書してくれてくれた。私たちはそれを台紙に貼り、デイホールの柱に飾った。その俳句は、他の曜日の利用者にも読まれ、「私も昔俳句をやっていた」、「私も作っていた」との声が出て、いつの間にか俳句の輪が広がった。最初は「私には作れない」と言っていた利用者も、指を折りながら言葉を当てはめて、俳句を楽しむようになった。今ではたくさんの俳句が柱に飾られ、それにより季節を感じることができるようになった。



デイサービスで一日楽しく過ごしてもらえるにはどうしたらよいか、いつも考えている私たち職員にとって、アイデアを出してくれた利用者への感謝の気持ちと、私達も、もっと楽しんでもらえるよう考えるよい刺激になります。これからも利用者のアイデア・意見を取り入れながら、楽しいデイサービスにしていきたいと思っています。

桜花にて

ケアハウス桜花 栄養士 淺見夕子

栄養士として桜花に勤めて6年目となりました。仕事に就いたばかりの頃は、ひたすら仕事を覚えるのに必死で時間が過ぎ、少し覚えた頃には、食事に対する不満やクレームに悩み、そして今度は献立のマンネリ化、と常に私自身の力不足を思い知らされる日々でした。

最近、不満やクレームを意見として捉え、精一杯答えるように、また、マンネリ気味の献立も入居者一人一人の顔を思い浮かべながら楽しんで立てられるようになりました。それは自分が成長したというよりも、桜花の入居者の皆さんが、私を「栄養士」として受け入れてくれたからだと思っています。お互いに色々な事が言えるようになったからこそ今だと思えます。

今年の目標は、入居者の皆さんとたくさん話をして、たくさんヒントを頂いて、もっと多くの方々に「桜花のご飯はおいしいよ」と言ってもらえるような食事作りをしていくことです。

自立に向けて

麻機園 介護支援専門員 芦口益枝

麻機園に入所されている80名それぞれの方に“自立を目指し、その人らしい生き生きとした生活を送って欲しい”そんな願いを込め、私たちはケアプラン（施設サービス計画書）を作成しています。

このケアプランは、いつもお世話をさせて頂いている居室担当の寮母が中心となり作成しています。居室担当寮母は入所者のお身体や精神状態を一番良く知る立場にあるからです。また、麻機園には介護職の他に看護・生活相談・栄養・機能訓練等に関する専門職がいます。今後も連携を図り、より一層質の高いサービスを提供していきます。

一方的なサービスの押しつけにならないように、入所者やご家族の意見を大切に、入所者皆さんの望む暮らしを麻機園で実現できるよう努力します。



つながり

麻機園 寮母 高井沙織

私はいつも「入所者と家族のようになればいいな」と思っている。短大を卒業し、介護の現場で働くにあたり特別養護老人ホームを選んだ理由は、他のどんな施設よりも入所者の近くにいられるような気がしたからだ。毎日の生活の中で、様々なコミュニケーションの取り方がある。会話を交わすだけの時もある。手をとる事もある。時には、抱き合い血の繋がった本気の家族ではないから、近づきすぎてしまわないように注意しなければならぬ。

私の家族について考えてみた。幼い頃は別として、今では親、兄弟と抱き合う事はないし、手を握る事すらない。実際、家族を相手にそれをやるうとしたら恥ずかしい気持ちになるだろう。

私達の「介護」という仕事は、周りの人たちから「大変だね、すごいね、えらいね」と言われることが多い。私は麻機園が初めての「社会」で、他の仕事のこととはわからない。他の仕事に就いている人たちは、「介護」をどんな風に感じているのだろうか、私自身はあまり「介護」が大変な仕事だということを意識することがない。私たちの仕事には毎日楽しいことがたくさんあるから。入所者の隣にただ座っていて、急に私の肩に腕をまわし抱き寄せてもらった時の喜び、頭を撫でてもらえる喜びは、他の仕事をしている人には味わうことができないと思う。皆、普段の生活の中で、他の人の手に触れたりすることはほとんどないだろう。入所者とのこんな嬉しい関わりは、私達だけの特権のように思う。家族からもされない事を、園の入所者の皆さんから自然にもらえることが不思議だし、すごいことだと思える。「家族のよう」には望み過ぎだと思つが、私達の立場でできること、私たちがだからこそできることを見つけた。これからは入所者との関係、繋がりを大切に、皆で楽しい毎日を過ごしていきたい。

デイサービスを無料で1日体験できます。興味のある方は 209 - 2619 までお電話ください。